



中江岩戸神楽面

神が舞い、人が興ずる神と人との和樂の世界。

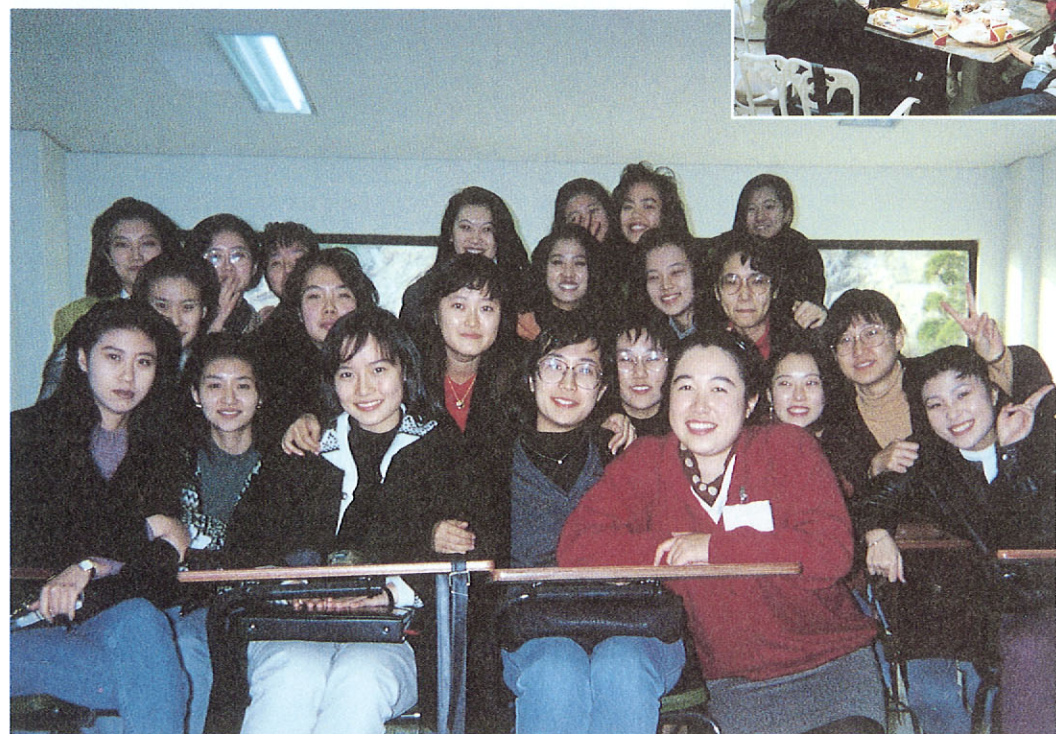
阿蘇郡波野村中江に伝わる中江岩戸神楽は、神話「天の岩戸」を表現したもので、約二五十年前に始まりました。動きが大きく、舞台の花道で見栄を切るのが特徴です。また、神が見物人に酒をふるまったり、見物人が柴の木を神に捧げたり、見物人も話の筋に参加するのも面白いところです。一昨年、県立劇場で全三十三座を二十四時間通して上演し、全国に放送されましたが、リズムがジャズに近いと、若い人たちにも大変好評でした。神楽の面は、天照大神や素戔嗚命など、いろいろな神の顔を表しています。舞手は必ず手を合わせてから面を付けます。神への敬意と、「無事に舞うことができるように」という祈りの意味が含まれているのです。面をつけると、その瞬間から神になります。ダイナミックな舞と声高な口上。本当に神が乗り移ったかのようです。中江、二十六世帯のうち十三世帯が神楽のメンバーです。秋祭りには、他の村にも呼ばれて、その村の神社に舞を奉納します。酒を酌み交わしながら、作物の出来具合や世間話をしたり。農作業から解放される一日を楽しく過ごします。

中江岩戸神楽保存会会長／佐藤義勝



- 利用のご案内
- * 神楽苑のご案内
 - 開館時間 そば処「岩戸開」・物産販売コーナー
午前10時～午後7時
 - 休館日 年中無休
 - * 神楽館のご案内
 - 開館時間 午前9時～午後5時
 - 休館日 年始年末を除き年中無休
 - 入館料 大人200円 子ども100円
 - 交通機関 JFR豊肥線、波野駅から徒歩15分
熊本市内から国道57号線を通って70分
 - お問い合わせ
神楽苑 0967-24-2331
波野村役場企画課 0967-24-2001

女子大生 in 忠清南道



生徒も先生も同じ年なので、すぐ仲良しに

カフェテリアでおしゃべり



「日本語を始めてまだ三年くらいしか経っていないのに会話はペラペラ。他に日本語教室に通っている人もいて、皆さん、とても勉強熱心なのでびっくりしました」と熊本女子大生たち。教授法の実習は日本語学科の二、三年生を対象に行われましたが、学生の大半は来日経験があり、日常会話程度なら理解できるという人ばかりです。「日本で用意した教案では、祥明女子大生には読み方が難しすぎたり、微妙な意味が分からなかったり。日本語を教えるのは大変だったようです」と指導教官の馬場良二助教授。

滞在先は、同年六月に熊本女子大学に研修生としてやって来た学生たちの家に二人ずつ分かれてホームステイをしました。ほとんどがソウル市内にあり、そのため、天安校までの二時間のバス通学も経験しました。

フリータイムでは、ホームステイ先でキムチの作り方を習ったり、韓装チマ・チョゴリを着せてもらったり。中には祥明女子大生に混じって、男子学生たちとの合同コンパに参加した人もいました。すっかり韓国の女子大生生活を堪能した様子です。「韓国語をマスターして、もう一度韓国へ行きたい」と早速、辞書を買って込んだ人も…。

「お互いの結婚観や職業観なども語り合った」という学生たち。じっくり話して相違点や共通点も見えてきたようです。本当の友だち関係がこれから始まろうとしています。



「サザエさん」のビデオを使っての授業



チマ・チョゴリを着て感激!!



ホームステイ先の家族と一緒に

忠清南道で教育実習 深まる友情

韓国祥明女子大学と県立熊本女子大学は、姉妹提携大学。祥明女子大生は日本語学習の、熊本女子大生は日本語教授法の学習に交換研修を行っています。昨年十一月五日～十五日、熊本女子大学国文科の学生たちが、忠清南道の祥明女子大学・天安校で日本語教授法の教育実習を行いました。皆さん方にその時の印象を語ってもらいました。